



## 偉人・周藤弥兵衛の伝記

# HNS研究所が出版

念開  
記ポ  
江シ  
松ン

島根県八雲村を洪水から救った江戸時代の偉人・周藤弥兵衛の一生を描いた伝記がHNS（人間・自然・

周藤弥兵衛の伝記出版を記念して開かれたシンポジウム。松江市千鳥町、ホテル一畑

科学）研究所（松江市、小松昭夫代表）により刊行され、二十八日、松江市内のホテルで出版を記念するシンポジウムが開かれた。

同研究所は、制御機器メーカーの小松電機産業（八雲村、小松昭夫社長）が昨年十月に設立。地元の先人の偉業紹介を通して郷土愛をほぐもようと伝記出版の準備を進めてきた。

周藤弥兵衛は、八雲村の治水に生涯をささげた人物で、五十歳代半ばから四十年余りにわたり岩山を削り、はんらんを繰り返して

いた意宇川の流れを変えた。伝記は各年齢層が手にできるように、児童文学、小説、漫画をそろえ、初版本としてそれぞれ五千部出版した。三種類ともハードカバーの単行本で、小説千四百円、児童向けと漫画は千三百円で、二冊セット、三冊セットもそろえおり、島根県内十九の指定書店などを通じて販売する。

出版記念シンポジウムには二百八十人が参加。長野忠・山陰中央新報社論説主幹をコーディネーターに、各本の作者や治水関係者らが史実をたどりながら弥兵衛の業績を検証した。八雲村では周藤弥兵衛の顕彰準備委員会が動き出しており、会場では弥兵衛の偉業を音楽で表した八雲小の創作曲がビデオで紹介された。